

平成28年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	麻薬・覚せい剤等対策費			担当部局庁	医薬・生活衛生局			作成責任者	
事業開始年度	昭和38年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	監視指導・麻薬対策課			課長 須田俊孝	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	厚生労働省組織令第54条			関係する計画、 通知等	第4次薬物乱用防止5カ年戦略 不正大麻・けし撲滅運動実施要綱 麻薬・覚せい剤乱用防止運動実施要綱 「世界一安全な日本」創造戦略				
主要政策・施策	男女共同参画			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	麻薬・覚せい剤等の危害を国民に周知するとともに、その撲滅を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. 地方厚生局麻薬取締部及び都道府県における麻薬取締行政職員に対する研修 2. 野生大麻・けしの除去 3. 国民運動として開催する麻薬・覚せい剤乱用防止運動の地区大会開催 4. 再乱用防止対策講習会の開催等								
実施方法	直接実施、委託・請負、交付								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
	当初予算	55	33	33	32				
	補正予算	-	-	-	-				
	前年度から繰越し	-	-	-	-				
	翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
	予備費等	-	-	-	-				
	計	55	33	33	32	0			
執行額	52	31	25						
執行率 (%)	95%	94%	76%						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
定量的な 成果目標 の設定が 困難な 場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と25~27年度の達成状況・実績					
	本事業は、麻薬・覚せい剤・危険ドラッグ等の危害の周知、再乱用防止対策、麻薬・覚せい剤・危険ドラッグ等の乱用撲滅を図ることを目的としており、成果について定量的に示すことは困難である。			麻薬取締職員研修、麻薬取締協議会等を通じ、麻薬取締職員、薬物取締捜査機関の連携を強化することにより、捜査現場における合同捜査の実施等円滑な取締り活動を行うことを目標とし、麻薬取締職員研修、麻薬取締協議会の開催等を実施した。					
事業の妥当性 を検証する ための代替 的達成目標 及び実績	代替目標	代替指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	間接的な指標として、合同捜査により押収した覚せい剤の押収量を成果実績評価に活用する	覚せい剤押収量	実績	Kg	194	8	101	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	①麻薬取締協議会・職員会議への出席	活動実績	回	7	7	7	-		
		当初見込み	回	7	7	7	7		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	②不正大麻・けし除去作業	活動実績	本	2,124,879	2,132,329	2,121,245	-		
		当初見込み	-	-	-	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	③薬物中毒対策連絡会議・再乱用防止対策講習会の開催	活動実績	回	6	6	6	-		
		当初見込み	回	6	6	6	6		

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	④不正大麻・けし撲滅運動用パンフレット等の配布	活動実績		万部	14	11	11
当初見込み			万部	14	11	11	11
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	①X:「当該年度の執行額」(円) / Y:「当該年度の出席箇所数」	単位当たりコスト	円	77,857	85,149	115,006	136,000
		計算式	X/Y		545,000/7	596,040/7	805,042/7
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	②X:「当該年度の執行額」(円) / Y:「当該年度の本数」	単位当たりコスト	円	0.5	0.7	0.7	-
		計算式	X/Y		1,130,000/2,124,879	1,454,794/2,135,655	1,452,000/2,121,245
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	③X:「当該年度の執行額」(円) / Y:「当該年度の開催箇所数」	単位当たりコスト	円	397,667	374,165	243,811	180,667
		計算式	X/Y		2,386,000/6	2,244,988/6	1,462,863/6
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	④X:「当該年度の執行額」(円) / Y:「当該年度の配布箇所数」	単位当たりコスト	円	167,214	143,415	151,219	138,456
		計算式	X/Y		2,341,000/14	1,577,560/11	1,663,412/11

平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由			
	報償費	7					
	委員等旅費	0					
	職員旅費	2					
	医薬品審査等業務庁費	7					
	庁費	15					
	検定検査事務等委託費	1					
	計	32	0				

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	麻薬・覚醒剤等の乱用を防止すること(Ⅱ-3)							
	施策	規制されている乱用薬物について、不正流通の遮断及び乱用防止を推進すること(Ⅱ-3-1)							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
			実績値	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	<p>地方厚生局麻薬取締部及び都道府県における麻薬取締行政職員に対する研修を実施、不正大麻・けし撲滅運動用パンフ及び通報を促すポスターを配布、不正大麻・けしの除去、薬物乱用防止に関する啓発活動、再乱用防止対策に関する会議・講習会等を実施することにより、麻薬・覚醒剤等の乱用防止に寄与するものである。</p> <p>(平成27年度における不正大麻・けしの除去件数 2,121,245本 不正大麻・けし撲滅運動用パンフレット等の配布数 11万部 薬物中毒対策連絡会議・再乱用防止対策講習会の開催数 6回)</p>								
	改革項目	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
	達成度	%	-	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
	-								

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	麻薬・覚醒剤・危険ドラッグ等の乱用を防止するための取組は、広く国民のニーズがあり、優先度の高い事業である。当該取組は、麻薬や覚醒剤等の規制法を所管する国が主導して行う必要があり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	麻薬・覚醒剤・危険ドラッグ等の乱用を防止するための取組は、国・都道府県、状況によっては民間とも連携して実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	麻薬・覚醒剤・危険ドラッグ等の乱用を防止するための取組は、国民の安全を確保することに繋がる優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	少額随意契約で調達できるもの以外のものについては、一般競争入札を実施し、競争性を確保している。なお、一者応札となつている案件については必要に応じて仕様を見直すなどを行っている。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となつたものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となつたものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	活動実績は高水準で推移している中で、コスト水準は妥当と考える。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	ポスター・パンフレット等の配布物は、都道府県等の希望を聴取した上で必要最小限の枚数を作成している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	入札落札額が予定価格を大きく下回つたため。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	研修参加者からのアンケートを基により効率的・効果的な研修会の実施に努めている	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	点検結果に記載したとおりの成果を上げることができた。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みに見合った実績を上げている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	各種成果物は、薬物乱用防止の取組、危険ドラッグの取締り等に十分に活用され、麻薬・覚醒剤・危険ドラッグ等対策を推進するために必要なものである。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	○危険ドラッグ対策費(346) 1. 危険ドラッグの分析、乱用薬物の鑑定法整備等 新たな成分の指定薬物への指定に必要な分析等を行う。 2. 薬物対策国際情報収集 職員を香港に派遣し、海外の捜査機関と歩調を合わせながら連携して薬物犯罪壊滅に向けた情報収集活動を図る。 ○麻薬等対策推進費(広報経費)(349) 1. 薬物乱用防止啓発訪問事業 啓発資料を作成し、訪問要請のあつた学校等へ専門の指導員を派遣し、薬物乱用防止に関する正しい知識の普及を図る。 2. 薬物乱用防止指導員養成事業 小学校等における広報活動の一環として薬物乱用防止教室の講師等を行える薬物乱用防止指導員を養成するための効果的な研修を開催する。 3. 覚醒剤乱用防止特別対策費 毎年、全国各地で実施している「ダメ、ゼッタイ。」普及運動及び毎年、各ブロック単位で地区大会を開催している麻薬・覚醒剤乱用防止運動に必要なポスター、啓発読本等の啓発資料を作成して配布する。 4. 薬物乱用防止普及啓発推進事業費 啓発読本の作成・印刷を行い学校等に配布する。 5. 再乱用防止対策事業 薬物依存症についての正しい知識や、薬物中毒者の家族による自助活動及び中毒者の家族が頼れる相談窓口や、中毒者の治療・支援施設等を網羅的に紹介されたパンフレットを作成し、関係機関に配布する。
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
	厚生労働省医薬・生活衛生局 監視指導麻薬対策課		危険ドラッグ対策費
	厚生労働省医薬・生活衛生局 監視指導麻薬対策課		麻薬等対策推進費(広報経費)
	-	-	-
	-	-	-
点検・改善結果	点検結果		・「麻薬取締職員研修」(3週間、麻薬取締職員・都道府県麻薬取締職員・聴講生55名が参加)を開催し、麻薬取締職員として必要な知識・技術の習得及び相互協力強化を図つた。また「麻薬取締協議会」及び「麻薬取締職員会議」(全国7ブロック、関係省庁・取締機関等が参加)に出席し、取締関係機関相互の協力関係強化及び情報共有を図つた。 ・毎年、5月1日～6月30日を不正大麻・けし撲滅運動期間とし、運動に必要なポスター及び大麻・けしの見分け方のパンフレットを印刷し、都道府県等に送付している。平成27年度においては、自生大麻・けしを約212万本発見除去し、大麻等の不正流通を防止した。 ・「麻薬・覚醒剤乱用防止運動地区大会」については、麻薬、覚醒剤、大麻、危険ドラッグ等の薬物乱用防止に関する啓発活動を協力に推進するため、全国6都市において実施した。大会開催については、一般競争入札(総合落札方式)によりコスト削減及び効率化を図つた。 ・「再乱用防止対策講習会」及び「薬物中毒対策連絡会議」(全国6ブロック、麻薬取締官、都道府県麻薬取締職員、麻薬中毒者相談員、関係職員等が参加(講習会は一般市民も参加))を開催し、薬物中毒・依存症に関する正しい知識と理解の普及、相談窓口の周知等を図るとともに、社会復帰支援に携わる関係機関間の連携を強化した。 ・麻薬製造等免許・許可電子台帳システムの維持管理については、システムの運用に関して一般競争入札により業者を選定し、効率化を図っている。
	改善の方向性		・「麻薬取締職員研修」に関して、受講生から講義内容に関するアンケートをとる等し、効果的な研究科目の実施に努めていく。 ・「麻薬取締協議会」及び「麻薬取締職員会議」に関して、適切な予算執行に努めていく。

外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
厚生労働省HP「薬物乱用防止に関する情報」 http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iyakuhin/yakubuturanyou/						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	346	平成23年度	314	平成24年度	273	
平成25年度	326	平成26年度	337	平成27年度	348	
※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。						
<b>資金の流れ</b> (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)						
	<b>A.大和総合印刷(株)</b> 外1件 計1.66百万円		<b>B.(株)ホームメックス</b> 2.14百万円		<b>C.東北厚生局</b> 外2機関 計1.45百万円	
	不正大麻・けし撲滅運動		麻薬・覚醒剤乱用防止国民運動 東京大会企画・運営業務		大麻・けしの除去業務	
	【随意契約(少額)】		【総合評価入札】		【支出委任】	
	<b>D.近畿厚生局</b> 外4機関 計6.54百万円		<b>E.国立医薬品食品衛生研究所</b> 0.53百万円 (薬物鑑定法策定・標準品整備)			
【委託】		<b>F.岩手県</b> 外31都道府県 計0.6百万円 (大麻・けし不正栽培等対策)				
<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	<b>A.大和総合印刷(株)</b>			<b>B.(株)ホームメックス</b>		
	費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
	印刷製本費	ポスター印刷	1.3	雑役務費	麻薬・覚醒剤乱用防止国民運動東京大会企画・運営業務	2.1
	計		1.3	計		2.1
	<b>C.東北厚生局</b>			<b>D.近畿厚生局</b>		
	費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
	庁費	除去用品購入費	0.8	庁費	麻薬・覚醒剤乱用防止国民運動地区大会	2.4
	計		0.8	計		2.4

E.国立医薬品食品衛生研究所			G.事務費		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	消耗品費、光熱費	0.5	雑務費	麻薬製造等免許・許可電子台帳システムのバージョンアップ及び機器提供等業務等	6.7
			その他	消耗品費、借料、印刷製本費、通信運搬費	3
			旅費	麻薬取締協議会・麻薬取締職員会議への出席等	2.3
			報償費	情報提供料	0.2
			諸謝金	再乱用防止対策講習会	0.1
計		0.5	計		12.3

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	大和総合印刷(株)	6010001021699	不正大麻・けし撲滅用ポスターの印刷	1.3	随意契約(少額)	-	100%	-
2	協新流通デベロッパ株式会社	5010601000566	不正大麻・けし撲滅用ポスターの梱包・発送	0.4	随意契約(少額)	-	100%	-

B.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ホームメックス(株)	3010001057060	麻薬・覚醒剤乱用防止国民運動神奈川大会企画・運営業務	2.1	総合評価入札	2	39%	-

C.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東北厚生局	-	大麻・けしの除去業務	0.8	-	-	-	-
2	北海道厚生局	-	大麻・けしの除去業務	0.3	-	-	-	-
3	中国四国厚生局	-	大麻・けしの除去業務	0.3	-	-	-	-

D.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	近畿厚生局	-	麻薬・覚醒剤乱用防止国民運動地区大会	2.4	-	-	-	-
2	東海北陸厚生局	-	麻薬・覚醒剤乱用防止国民運動地区大会	1.6	-	-	-	-
3	九州厚生局	-	麻薬・覚醒剤乱用防止国民運動地区大会	1.5	-	-	-	-
4	中国四国厚生局	-	麻薬・覚醒剤乱用防止国民運動地区大会	0.6	-	-	-	-
5	北海道厚生局	-	麻薬・覚醒剤乱用防止国民運動地区大会	0.5	-	-	-	-

E.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立医薬品食品衛生研究所	-	麻薬及び向精神薬取締法に基づく薬物鑑定法策定・標準品整備	0.5	-	-	-	-

